

フードコード・ファクトシート #9

コードについて知っておくべきこと

WWW.HEALTHOREGON.ORG
/FOODSAFETY

OAR 333-150-0000, チャプター6-501.115

(E) ペットの犬は、以下の条件下で、飲食施設の屋外の座席エリアに入ることが認められています。

(1) 飲食施設が、次のことを盛り込んだ文書による手順を導入すること。

a) 消費者と犬が利用できる屋外の指定エリアを示す略図。Pf

b) 飲食施設による、従業員がペットに触れない、またはペットの犬を扱わないことを徹底する、ならびに犬の排泄物などが伴う事故を早急に処理するための手順。また手順には、犬の排泄物などが伴う事故を早急に処理する上で必要な物質や資料および装置の場所が明示される必要があります。Pf および

c) 本パラグラフの要件を従業員と消費者に通知する飲食施設の手順。Pf

(2) ペットの犬は、器、食器、テーブルウェアに触れてはいけません。さらにペットの犬は、椅子、テーブル、その他の調度類に触れることも認められていません。Pf

(3) 従業員と消費者がペットの犬に食品を与えることができないこと。Pf

(4) ペットの犬は、常時、リードにつながれ、飼い主である利用者の管理下に置かれる必要があること。Pf

(5) ペットの犬は、いかなる場合も、飲食施設の屋内、または指定外の屋外エリアにアクセスすることが許可されないこと。Pf

公衆衛生上の理由：

衛生上の懸念には、フロアでのペットの排便、従業員がペットを撫でてその手を洗わないこと、犬が消費者の食器から食品を食べること、破壊的な行動が含まれます。衛生リスクを査定する上で、公衆衛生課 (Public Health Division) は、公衆に及ぼすリスクが低く、最小である、または皆無の屋外ダイニング環境の種類を特定しています。こうした環境においては、屋外エリアへの犬の立ち入りを認めているレストラン所有者には、潜在的なリスクを最小限に抑えるための慣行を実践することが求められます。屋内ダイニングエリアには変更はありません。レストランの屋内への立ち入りが許可される唯一の動物は、障害者に同伴する介護動物犬や警察犬などの介助動物です。

屋外の指定された座席エリア のペットの犬

新しい規則による規定では、フードサービスの運営者は、ペット犬とともに食事をしたいと考える消費者向けに指定の座席エリアを提供することが可能です。ペット犬の立ち入りを認めようとする飲食施設は、公衆衛生上の懸念の解決方法を実証する文書による手順を導入した上で犬の立ち入りを許可すべきです。

以下の情報が提供されます。

1. ペットの犬を連れてお客様が利用できる屋外の指定エリアを図で示し、説明します。
2. 「Employees shall be prohibited from touching, petting, or otherwise handling dogs while serving food or beverages, handling tableware (従業員は、飲食の提供時に犬に触れる、なでる、触れ合うことは禁じられています)」、および「Accidents involving dog waste shall be cleaned immediately (犬の排泄物による事故が発生したら、速やかに清掃してください)」という旨の飲食施設の従業員向け方針の写しを添付します。また方針には、犬の排泄キットの位置が明示される必要があります。
3. 以下について、飲食施設の従業員および利用者に向けた通知方法を説明します。

- 犬は、配膳用の食器、調理器具、テーブルウェアに接触しないこと。利用者は、犬をリードにつなぎ、常時管理下に置くこと。
- 犬は、椅子、テーブル、またはその他の調度類に触れることができないこと。



マナーの良い犬は許可されます

- ペットの犬は、いかなる場合も、飲食施設の屋内、または指定外の屋外エリアにアクセスすることが許可されないとします。介助犬は、利用者エリアの屋内に立ち入ることが認められています。
- 危険な、および危険となりうる犬は立ち入ることが認められていません。飲食施設は、敷地に犬を立ち入らせないようにする場合があります。